

# 都市再生整備計画(第5回変更)

ながさきしとうぶちく  
長崎市東部地区

ながさき 長崎県 ながさきし 長崎市

平成25年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長崎県	市町村名	ながさきし 長崎市	地区名	ながさきしようぶちく 長崎市東部地区	面積	965 ha
計画期間	平成	20	年度	～	平成	24	年度
交付期間	平成	20	年度	～	平成	24	年度

### 目標

長崎市の東部市街地圏域の拠点として、にぎわいと活力のある計画的な都市を創る。

- ①地域コミュニティの形成
- ②良好な居住環境の形成による人口定着
- ③地域の防災性・安全性の向上
- ④観光、交流、広域連携による地域づくり

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

当地区は、長崎街道の中で最も難所といわれた日見峠が位置し、長崎を訪れる人たちはこの峠を越えて長崎入りしたことから、江戸時代には、長崎二十五宿として日見宿や矢上宿が置かれていた。昭和30年(日見地区)と38年(東長崎地区)に市域に編入され、農業・漁業を主な産業として発展してきたが、昭和34年の長崎水族館の開設、昭和36年の長崎造船大学(現長崎総合科学大学)の移転、昭和50年の長崎市中央卸売市場、昭和51年の長崎卸センターの開設により、現在では文教の町、本市主要な流通業務地、市東部の住宅地として発展している。また、昭和57年の長崎大水害では、山崩れ、土石流、八郎川の氾濫により浸水などの大きな被害を受けた。このような環境の下で、長崎市三次総合計画や長崎市都市計画マスタープランにおいて、『東部市街地圏域の拠点として、にぎわいと活力のある計画的な都市づくり』を目指して、下記の目標を定めて事業を進めている。

- ①地区拠点の形成
- ②都市防災対策
- ③東長崎地区土地区画整理事業による計画的で良好な市街地の形成

特に、市東部地区の生活・子育て・地域交流・防災等の機能をあわせもつ拠点施設の必要性が第3次長崎市総合計画や都市計画マスタープランに位置づけられて以降、地元町内会、青少年健全健全育成協議会、民生委員、商店会、長崎市で構成される『東部地区公共施設検討委員会』が中心となって、平成15年度から東部地区公共施設の検討を進めてきた。

### 課題

・当地区は、本市東部地区の歴史的・文化的・経済的活動の中心であるにもかかわらず、道路や公園等の公共基盤施設の不足や、子育てや地域住民の交流の場が不足している。今後は、高齢者、障害者、子育て世帯など誰もが暮らしやすく、防災性や耐震性などに優れ、さらに環境に配慮した安心・安全なまちづくりを進めることが求められている。

### 将来ビジョン(中長期)

- ・東長崎支所などの公共公益施設が立地し、商業・業務施設が集積がみられる矢上地区において、商業・業務機能や文化機能などの集積・向上により、地区拠点としての機能向上を図る。
- ・都市基盤施設が未整備な市街地において、土地区画整理事業などを推進し、避難路・避難地ともなる生活道路の整備や公園などのオープンスペースの確保などにより防災性の向上を図る。また、災害時や緊急時に対応できるよう消防署等の建設などによる消防施設の整備や避難所の耐震化を進め、防災体制と消防力の充実を図る。
- ・土地区画整理事業などにより都市基盤施設の整備を進め、計画的で良好な市街地の形成を図る。
- ・ペンギン水族館や周辺の海浜施設を活用して、地域との交流を促進し、産業の育成、地域の活性化を図る。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	
防災性・安全性に対する満足度	%	長崎市民満足度調査の結果(対象:地区内)	地域の防災性・安全性の向上	13.9	20.0	H18	H24
すみやすさに対する満足度	〃	〃	良好な居住環境の形成による人口定着	27.8	32.0	H18	H24
子育てしやすさに対する満足度	〃	〃	地域コミュニティの形成	11.1	20.0	H18	H24
主要観光施設入場者数	人	統計資料(ペンギン水族館入場者数)	観光、交流、広域連携による地域づくり	216,291	250,000	H18	H24

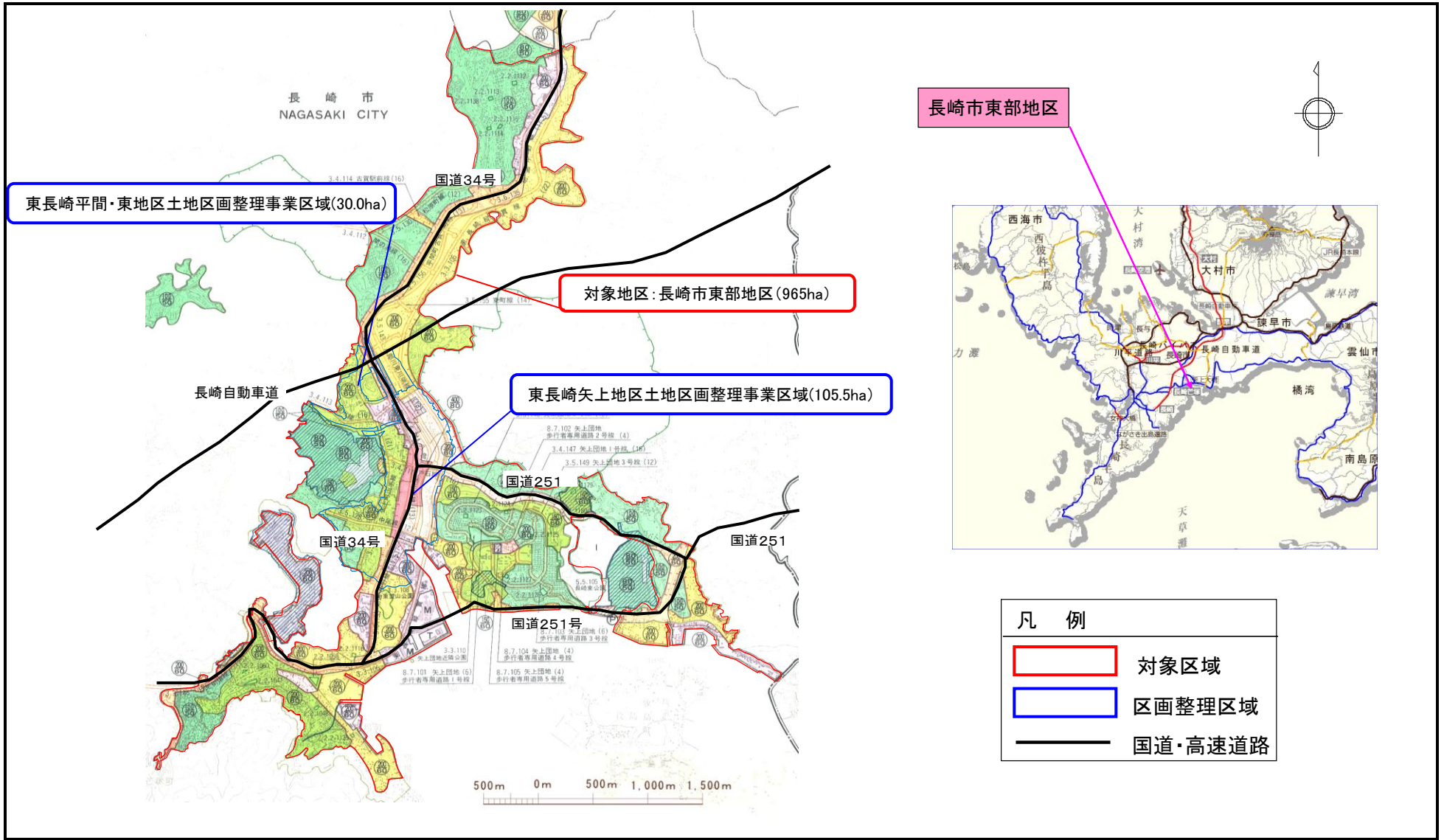
都市再生整備計画の整備方針等




計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1:交流拠点の整備                      ○東長崎支所などの公共公益施設が立地し、商業・業務施設が集積がみられる矢上地区において、商業・業務機能や文化機能などの集積・向上により、地区拠点としての機能向上を図る。</p>	<p>高次都市施設整備(地域交流施設)(基幹・提案/市・東部地区公共施設)</p>
<p>整備方針2:良好な居住環境の形成                      ○土地区画整理事業などにより都市基盤施設の整備を進め、計画的で良好な市街地の形成を図る。</p>	<p>土地区画整理事業(関連・市)                      道路事業(基幹・市)                      地域生活基盤施設事業(基幹・市)</p>
<p>整備方針3:都市防災対策                      ○都市基盤施設が未整備な市街地において、土地区画整理事業などを推進し、避難路・避難地ともなる生活道路の整備や公園などのオープンスペースの確保などにより防災性の向上を図る。                      ○災害時や緊急時に対応できるよう消防署等の建設などによる消防施設の整備や避難所の耐震化を進め、防災体制と消防力の充実を図る。</p>	<p>土地区画整理事業(関連・市)                      地域生活基盤施設事業(基幹・市)                      高次都市施設整備(地域交流施設)(基幹提案・市 東部地区公共施設)                      地域防災拠点施設(避難所)耐震補強(関連・市)</p>
<p>整備方針4:地域の観光・産業資源等の有効活用                      ○東部地区の観光や学習の拠点として整備したペンギン水族館や長崎市農業センターの拡充を進め、観光客の増加や地域の活性化を図る。</p>	<p>ペンギン水族館日本一プロジェクト(提案・市)                      農業センター施設拡充事業(関連、市)</p>
<p>その他</p> <p>■市民参画によるまちづくりの推進                      長崎市では、東長崎地区の生活拠点・子育て拠点・地域交流拠点・防災拠点をあわせもつ拠点施設の必要性を第3次長崎市総合計画に位置づけ以降、市民の考えに基づき、地元町内会、青少年健全健全育成協議会、民生委員、商店会、長崎市で構成される『東部地区公共施設検討委員会』が中心となって、平成15年度から東部地区公共施設の検討を進めてきた。                      また、東長崎地区では、市民主導で東長崎タウン情報の発行や、各種イベント(夏祭り、矢上くんち)の開催、商工会における東長崎花火大会等様々な活動が行われている。</p>	



都市再生整備計画の区域

<p>長崎市東部地区(長崎県長崎市)</p>	<p>面積</p> <p>965 ha</p>	<p>区域</p> <p>田中町、矢上町、平間町、鶴の尾町、東町、かき道1丁目、かき道2丁目、かき道3丁目、かき道4丁目、かき道5丁目、かき道6丁目、松原町、古賀町、つつしが丘1丁目、つつしが丘2丁目、つつしが丘3丁目、つつしが丘4丁目、つつしが丘5丁目、中里町、船石町、上戸石町、戸石町、高城台1丁目、高城台2丁目の全部</p>
------------------------	-------------------------	---



凡 例	
	対象区域
	区画整理区域
	国道・高速道路

# 長崎市東部地区(長崎県長崎市) 整備方針概要図

目標	長崎市の東部市街地圏域の拠点として、にぎわいと活力のある計画的な都市を創る。	代表的な指標	防災性・安全性に対する満足度 ( % )	13.9 ( 18年度 )	→	20 ( 24年度 )
			すみやすさに対する満足度 ( % )	27.8 ( 18年度 )	→	32 ( 24年度 )
			子育てしやすさに対する満足度 ( % )	11.1 ( 18年度 )	→	20 ( 24年度 )
			主要観光施設入場者数 ( 人 )	216,291 ( 18年度 )	→	250,000 ( 24年度 )

